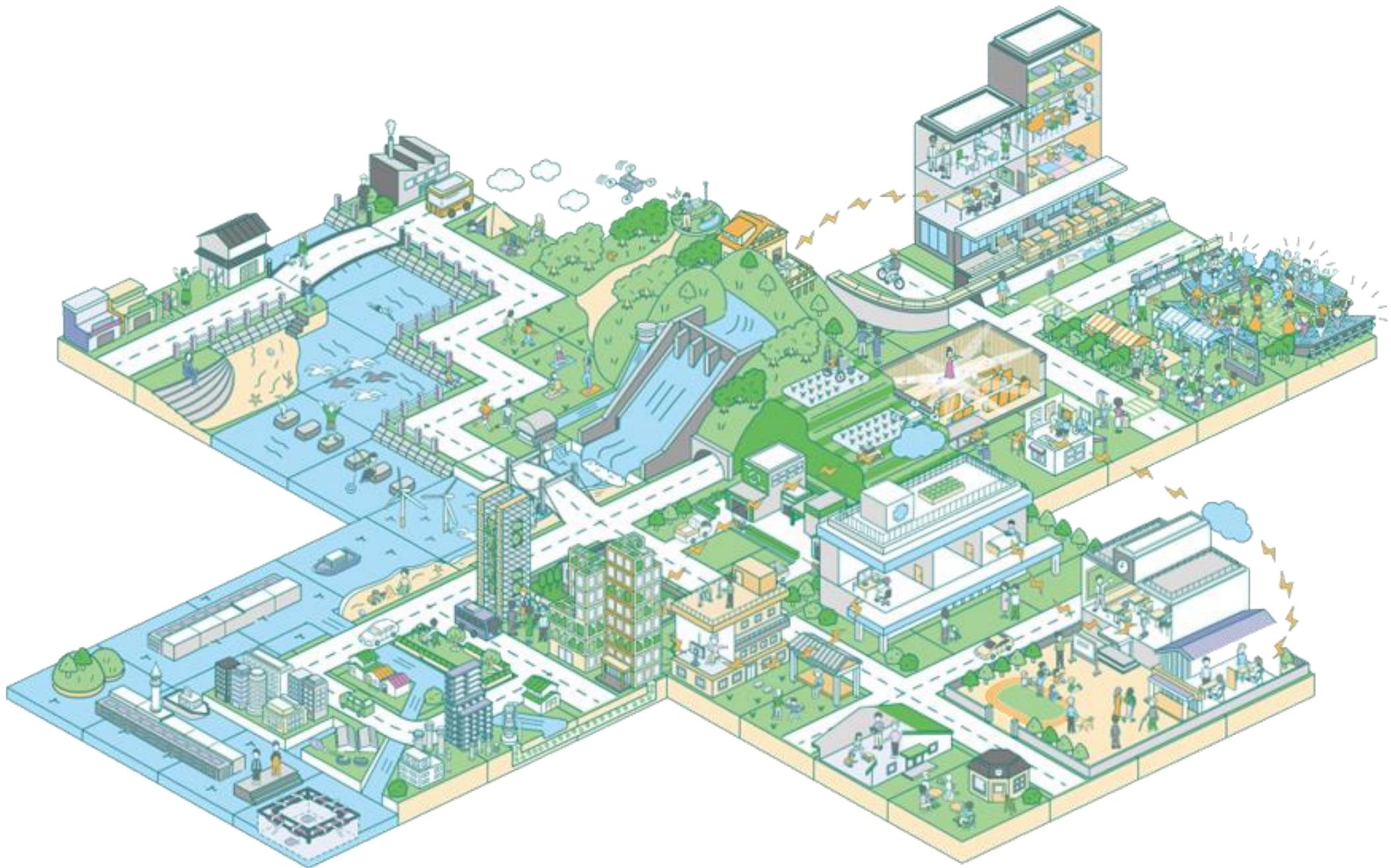


プラチナ構想ネットワーク

プラチナ社会の実現を目指す
活動のご紹介



プラチナ構想ネットワークについて

プラチナ構想ネットワークは、「地球が持続し、豊かで、すべての人の自己実現を可能にする社会」をプラチナ社会と定義し、その実現を目指しています。地球と人類を視野に、日本に思いを致し、先見性・全体性・具体性において、優れた活動を行っていることを自負しています。

先見性



人類の岐路2050年を焦点に、現在から2100年を視野に入れていきます。世界は再生可能エネルギーと資源循環による完全循環型社会となることが可能であり、その社会経済の下で、すべての人が、豊かで、自己実現が可能となる参加型社会を目指しています。その「**実現のために必要な知識のほとんどすべてはすでにどこかにある**」ことを認識し、分散局在した知のネットワークングによって実現を図ります。

全体性



地球・人間・社会のサステナビリティを求めて、世界～アジア～日本、都市～地方、技術・経済・社会を視野に入れていきます。世界視野のモデルですが、至る道筋は国情に依存するので、世界と協働しつつ日本のプラチナ化を進めます。

具体性



プラチナ化はビジネス創成と横展開で加速しなければなりません。そのために、「完全循環システム」「Lifelong Active Learning」「新林業×バイオマス×木造都市」「逆参勤交代」などの具体モデルを構築し、プロトタイピング（小規模実装）を行い、実ビジネスへの移行を触媒することによって、変革を主導します。

組織概要

設立	2022年1月（前身の任意団体は2010年8月～2022年4月）
会長	小宮山 宏 株式会社三菱総合研究所 理事長、東京大学第28代総長
組織	一般社団法人（会員制）
会員	法人会員（A 50団体、B 39団体、C 51団体） 自治体首長会員（211名） 社会実装推進会員（5名）個人会員（65名） 計421団体・個人 ※2023年4月現在
年会費	法人会員（A 100万円以上、B 50万円、C 10万円以上） 社会実装推進会員・個人会員（1口5千円） 自治体首長会員は無料
社員	法人会員（A・B） 社会実装推進会員 個人会員

活動の三本柱

理念の形成と普及	プラチナ社会は、エコロジカルで、資源の心配がなく、すべての人が参加でき、雇用が十分にあり、自由な社会です。その詳細像を常に研究し、提案を続けています。
人財育成	小学生から社会人まで、老若男女、多様な国の人々、異種の経験など多様性が刺激しあう環境で、社会課題の解決に挑戦し、参加するすべての人が成長する「Lifelong Active Learning」の場を構築しています。
社会実装	健康・自立、再生可能エネルギー、第1次産業、循環経済、観光、教育、インフラなどプラチナ社会の重要産業のビジネス化を目指しています。プラチナ構想ネットワーク自体は、ビジネス活動の主体ではありませんが、新ビジネスの概念・モデル構築、プロトタイピング（小規模実装）、活動主体との連携、実装のためのチームの組成など、新ビジネス創出に向け重要な役割を担っています。

理念の形成と普及

- ・プラチナ懇談会（会長を交えた意見交換、計116回開催）
- ・プラチナ大賞（優れた取組を表彰して情報化、これまでに10回開催）
- ・プラチナシンポジウム（時宜を得たテーマで随時開催、2022年1月「地域・脱炭素」）
- ・プラチナTV（YouTubeを活用した当会の活動紹介）

人財育成

- ・プラチナ構想スクール（自治体職員の課題解決力養成塾、279名が卒業）
- ・プラチナ未来人財育成塾（中学生対象の未来人財育成、745名が卒業）
- ・プラチナ未来スクール（小学生対象の課題解決力養成塾、1,291名が卒業）

社会実装

- ・プラチナ会員連携支援プロジェクト（「自治体×企業」で社会実装、30件成立）
- ・イニシアティブ（大規模で複雑な課題に対し、影響のある主体が、競争前段階で協力して政策提言および先導的な取組に支援・参画、「森林産業」で開始）
- ・ワーキンググループ（産業観光、サーキュラーエコノミー）
- ・特定地域でのプロジェクト組成（秋田、北いわて、長野ほか）

活動手法

Network of Networksが活動手法の特徴です。世界に分散局在した知を動員するため、広く連携し、知の構造化を図っています。会員に加え、東京大学総括プロジェクト機構「プラチナ社会」総括寄付講座（大久保達也教授、菊池康紀准教授）、文部科学省COI（Center Of Innovation Program、委員長小宮山）、STS京都会議（Science & Technology in Society Forum、理事長小宮山）、TM研究会（会長小宮山）、丸の内プラチナ大学（学長小宮山）など、多数の人やそのネットワークと、具体プロジェクトごとに連携しています。

今後、力を入れていく社会実装支援では、プラチナ大賞などを通じて得られた全国各地の**先導的モデル**を「発掘・構築・体系化し」、そのモデルの**「横展開を図り」、望まれる「法、社会制度の改革を促します」**。

SDGs、Society5.0との関係

SDGs（Sustainable Development Goals）は、2015年に国連サミットで採択された、地球・人権を旨とする画期的な理念的目標です。プラチナ構想ネットワークも、持続可能な地球と社会の実現を掲げており、目指す方向は同じです。特に、「日本社会の課題解決が世界を先導する」という「課題解決先進国論」に基づき、少子化、地方の衰退、大都市の過密など、先進国の最重要課題の解決に取り組んでいます。

Society5.0は、「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」を目指しており、これは「すべての人の自己実現を可能にする社会」を掲げるプラチナ社会像と同一と考えられます。

会員のメリット

会員相互のネットワーク・連携強化

プラチナ懇談会への出席等を通じて、企業経営者、自治体首長や第一線の学識者等とのネットワーク構築や連携の強化を図ることができます。

プラチナ大賞

応募を通じて、地域や企業の先進的な取組を全国に情報発信できます。

自治体職員研修

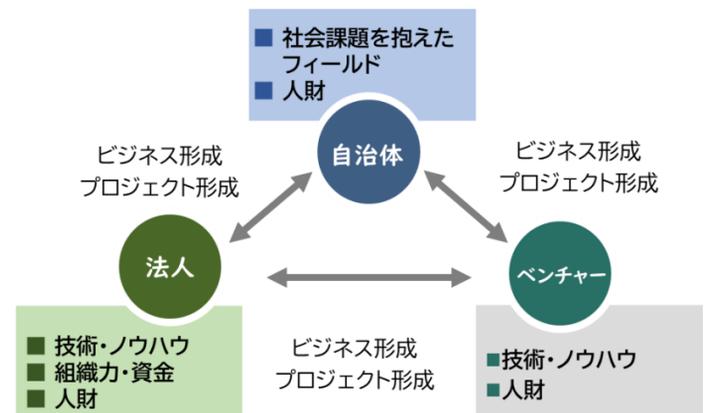
多彩な講師陣による座学や他の自治体職員との交流を通じてわがまちのプラチナ構想を策定します。法人会員も聴講できます。

先導的取組の社会実装

企業と自治体のマッチングを通じてプロジェクト形成を支援し社会課題解決に取り組めます。

プラチナ産業イニシアティブへの参加

会員を中心に産官学で社会実装に取り組むイニシアティブ活動にご参加いただけます。森林産業に続き、環境・エネルギー、健康・自立、人財育成、観光などでの展開を計画中です。



文明によって得られた自由を存分に活用し、21世紀に日本が世界に先駆けて直面している諸課題を解決し、プラチナ社会を実現していこうではありませんか。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

一般社団法人 プラチナ構想ネットワーク 会長

小宮山 彰



一般社団法人プラチナ構想ネットワーク

〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3東急キャピトルタワー9階

TEL.03-6858-3546 FAX.03-5204-9563

e-mail:jimuinfo@platinum-network.jp

<https://www.platinum-network.jp/>



プラチナ構想ネットワーク

検索

2023年4月版